



メディア リソース グループの設定

メディア リソース管理は、メディア リソース グループとメディア リソース グループ リストによる処理を包含しています。メディア リソース管理にはメディア リソースの管理機構が備わっているため、クラスタ内のすべての Cisco Unified Communications Manager がメディア リソースを共有できます。メディア リソースは、会議、トランスコーディング、メディア 終端、アナンシエータ、および 保留音の各サービスを提供します。

メディア リソース グループは、メディア サーバが論理グループを構成するように定義します。必要に応じて、メディア リソース グループを地理上のロケーションやサイトと関連付けることができます。また、サーバの使用方法やサービスのタイプ（ユニキャストまたはマルチキャスト）を制御するためのメディア リソース グループも必要に応じて作成できます。

次のタイプのデバイスを、1つのメディア リソース グループにグループ化することができます。

- 会議ブリッジ (CFB)
- メディア ターミネーション ポイント (MTP)
- 保留音サーバ (MOH)
- トランスコーダ (XCODE)
- アナンシエータ (ANN)

メディア リソース グループを設定するには、次のトピックを参照してください。

- [メディア リソース グループの検索 \(P.70-2\)](#)
- [メディア リソース グループの設定 \(P.70-3\)](#)
- [メディア リソース グループの設定値 \(P.70-5\)](#)
- [メディア リソース グループの削除 \(P.70-6\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「メディア リソースの概要」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「メディア リソース グループおよびメディア リソース グループ リストの設定チェックリスト」

メディア リソース グループの検索

ネットワーク内にはいくつかのメディア リソース グループが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定のメディア リソース グループを見つけることができます。メディア リソース グループを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザ セッションでの作業中は、メディア リソース グループの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、メディア リソース グループの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [メディアリソース] > [メディアリソースグループ] の順に選択します。

[メディアリソースグループの検索と一覧表示 (Find and List Media Resource Groups)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#)に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.70-7 の「関連項目」を参照してください。

メディア リソース グループの設定

メディア リソース グループを追加、更新、またはコピーする手順は、次のとおりです。



(注) メディア リソース グループから最初にリソースを除去しておく場合、またはメディア リソースが入っているメディア リソース グループを削除する場合を除いて、メディア リソース グループに含まれているメディア リソース（たとえば、会議ブリッジ）は、削除できません。

手順

ステップ 1 [メディアリソース] > [メディアリソースグループ] の順に選択します。

[メディアリソースグループの検索と一覧表示 (Find and List Media Resource Groups)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- メディア リソース グループをコピーするには、該当するメディア リソース グループを見つけます (P.70-2 の「メディア リソース グループの検索」を参照)。**[検索結果 (Search Results)]** リストから、コピーするメディア リソース グループに対応する **[コピー (Copy)]** アイコンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 新しいメディア リソース グループを追加するには、**[新規追加]** ボタンをクリックします。**[メディアリソースグループの設定 (Media Resource Group Configuration)]** ウィンドウが表示されます。**ステップ 3** に進みます。
- 既存のメディア リソース グループを更新するには、該当するメディア リソース グループを見つけます (P.70-2 の「メディア リソース グループの検索」を参照)。次に、**ステップ 3** に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 70-1 を参照)。

ステップ 4 **[保存]** をクリックします。

メディア リソース グループをコピーする場合は、少なくともメディア リソース グループの名前を変更する必要があります。

■ メディア リソース グループの設定

メディア リソース グループを追加すると、[ステータス (Status)] が、[使用可] から [追加に成功しました] に変わります。これで、メディア リソース グループ リストに、新規のメディア リソース グループが追加されました。

既存のメディア リソース グループを更新すると、[ステータス (Status)] が、[使用可] から [更新に成功しました] に変わります。

メディア リソース グループ内のすべてのデバイス (使用可能なリソースと選択済みリソースの両方) をリセットするには、[リセット] ボタンをクリックします。



(注) 既存のメディア リソース グループを更新するときは、メディア リソース グループの名前を変更した場合にだけ、デバイスをリセットする必要があります。



(注) デバイスをリセットすると、このメディア リソース グループに関連するデバイスがすべてリセットされます。Cisco Unified Communications Manager が、影響を受けるゲートウェイ上のアクティブ コールを削除する可能性があります。


追加情報

P.70-7 の「関連項目」を参照してください。

メディア リソース グループの設定値

表 70-1 では、メディア リソース グループの設定に使用される設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.70-7 の「関連項目」を参照してください。

表 70-1 メディア リソース グループの設定値

フィールド	説明
[名前]	これは必須フィールドで、Cisco Unified Communications Manager がメディア リソース グループを識別するための固有の名前を入力します。この名前には、最長 50 文字まで指定できます。文字、数字、スペース、ダッシュ、ドット（ピリオド）、および下線を指定できます。
[説明]	メディア リソース グループの説明を入力します。この説明には、最長 50 文字を指定できます。説明には、二重引用符（“）、小なり（<）、大なり（>）、またはパーセント記号（%）が、含まれていないことを確認してください。
[このグループのデバイス (Devices for this Group)]	この領域は、メディア リソース グループのメディア リソースを定義するのに使用される [使用可能なメディアリソース (Available Media Resources)] と [選択されたメディアリソース (Selected Media Resources)] の 2 つの画面区画から構成されます。
[使用可能なメディアリソース (Available Media Resources)]	<p>メディア リソース グループに対して選択可能なメディア リソースが表示されます。このメディア リソースには、次のメディア リソース タイプが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 会議ブリッジ (CFB) • メディア ターミネーション ポイント (MTP) • 保留音サーバ (MOH) • トランスコーダ (XCODE) • アナウンサー (ANN) <p>マルチキャスト用に設定されている保留音サーバには、(MOH) [Multicast] というラベルが付いています。</p> <p>このメディア リソース グループのメディア リソースを追加するには、リストからメディア リソースを選択し、下矢印をクリックします。メディア リソースが追加されると、その名前が、[選択されたメディアリソース (Selected Media Resources)] に移動されます。</p>
[選択されたメディアリソース (Selected Media Resources)]	<p>メディア リソース グループに対して選択されたメディア リソースが表示されます。メディア リソース グループでは、少なくとも 1 つのメディア リソースを選択する必要があります。</p> <p>メディア リソースを削除（選択解除）するには、その名前を選択し、上矢印をクリックします。</p>
[MOH オーディオにマルチキャストを使用 (Use Multicast for MOH Audio、最低 1 つのマルチキャスト MOH リソースが使用可能な場合)]	<p>保留音オーディオ用のマルチキャストを使用するには、このチェックボックスをオンにします。マルチキャストを使用するには、選択されたメディア リソースの少なくとも 1 つが、マルチキャスト MOH サーバであることを確認してください。</p> <p> (注) マルチキャスト オーディオ ソースは、システム管理者が設定または作成します。</p>

メディア リソース グループの削除

既存のメディア リソース グループを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

メディア リソース グループ リストに割り当てられているメディア リソース グループは、削除できません。メディア リソース グループを使用しているメディア リソース グループ リストを検索するには、[メディアリソースグループの設定 (Media Resource Group Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。使用中のメディア リソース グループを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用されているメディア リソース グループを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するメディア リソース グループを使用しているメディア リソース グループすべてに、別のメディア リソース グループ リストを割り当てる。P.71-3 の「メディア リソース グループ リストの設定」を参照してください。
- 削除するメディア リソース グループを使用しているメディア リソース グループ リストを削除する。P.71-6 の「メディア リソース グループ リストの削除」を参照してください。

手順

ステップ 1 P.70-2 の「メディア リソース グループの検索」の手順を使用して、メディア リソース グループを見つけます。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除するメディア リソース グループを選択します。

ステップ 3 [削除] ボタンをクリックします。

このメディア リソース グループを完全に削除しようとしていること、およびこの操作は取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。

ステップ 4 続行するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。

選択されたメディア リソース グループが、メディア リソース グループ リストから削除されました。

追加情報

P.70-7 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [メディア リソース グループの検索 \(P.70-2\)](#)
- [メディア リソース グループの設定 \(P.70-3\)](#)
- [メディア リソース グループの設定値 \(P.70-5\)](#)
- [メディア リソース グループの削除 \(P.70-6\)](#)
- [依存関係レコードへのアクセス \(P.A-4\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「メディア リソースの概要」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「メディア リソース グループおよびメディア リソース グループ リストの設定チェックリスト」

メディア リソース グループ リスト

- [メディア リソース グループ リストの設定 \(P.71-1\)](#)
- [メディア リソース グループ リストの設定 \(P.71-3\)](#)
- [メディア リソース グループ リストの削除 \(P.71-6\)](#)

